

平成29年度教育委員会事務局運営の総括表

基本方針・重点方針	平成29年度重点取組						
	取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等	
開かれた学校づくりと市民との共汗で進める教育改革	1	保護者・地域が学校運営に参画する「学校運営協議会」の設置拡大、次期学習指導要領における「社会に開かれた教育課程」を踏まえた長期休業期間の統一や3学期制の実施を見据えた学校運営の推進	・学校運営協議会の更なる活動充実と先進的な取組事例の発信 ・中学校単位に加え、中学校区における小中合同での設置拡大 ・3学期制の実施に関する検討	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	・241校・園（幼11、小164（全校）、中58、総8）に学校運営協議会を設置（市区町村別設置数は全国最多） ・27中学校区において、小中合同による学校運営協議会を設置 ・研修会やコミュニティスクール連恒の全校圏への配布等により先進事例を紹介 ・平成30年度から、全小中学校で「新たな3学期制」を実施するため、学校向け手引及び保護者向けチラシを配布		学校指導課 生涯学習部
	2	子どもたちの教育環境の充実をめざした地域住民、保護者との共汗で進める学校統合及び新しい学校づくり	・向島中学校区小中一貫教育校創設に向けた取組推進 ・下京雅小学校新校舎整備に向けた取組推進 ・御所東小学校の閉校に向けた取組推進 ・京北地域小中一貫教育校創設に向けた取組推進 ・小規模校の保護者・地域への的確な情報提供と論議・検討の促進	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	・4月に向島二の丸小と二の丸北小を一次統合（校名は向島二の丸）し、9月から元二の丸北小敷地における小中一貫教育校新校舎建設工事に着手。12月に小中一貫教育校の校名が「向島秀蓮中学校」と定められ、平成31年4月の開校に向けて、「創設協議会」（計5回）や「PTA代表者会」（計4回）、「通学安全対策部会」（計4回）開催等による開校準備を推進 ・下京雅小学校新校舎整備に向けた取組推進 ・御所東小学校の平成30年4月の閉校に向け地域住民・保護者とともに「御所東小学校開校準備会」（計12回）開催等による開校準備を推進 ・京北地域小中一貫教育校の創設に向けて、「検討協議会」（計4回）や「通学安全検討部会」（計3回）開催等による取組を推進 ・10月に京野小と赤只小の学校統合に係る地元要望書が提出され、平成31年4月の統合に向けて、「統合推進委員会」（計1回）開催等による議案を推進 ・小規模校の保護者・地域への的確な情報提供と論議・検討の促進		教育環境整備室 学校統合推進室
確かな学力の育成	3	家庭環境に関わらず全ての子どもたちの可能性を最大限引き出す確かな学力と学習習慣の定着	・小・中学校全校での「土曜学習」の実施 ・未来スタディ・サポート教室を中学校全校で実施 ・義務教育9年間の確かな学びを支える「京都市小中一貫学習支援プログラム」（全13回～15回に充実）の推進	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	・小・中学校全校での「土曜学習」の実施 ・未来スタディ・サポート教室を全中学校（73校）で実施 ・義務教育9年間の確かな学びを支える「京都市小中一貫学習支援プログラム」を全15回に充実		学校指導課
	4	小中一貫教育ガイドライン（試案）に基づく義務教育9年間の系統性を確保した校区的状況に応じた全中学校区での小中一貫教育の推進	・全中学校ブロックで小中一貫教育ガイドライン（試案）に基づく校区的状況に応じた小中一貫教育を推進	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	・全中学校ブロックで小中一貫教育ガイドライン（試案）に基づき作成した小中一貫教育構想図等を活用 ・小中学校合同の学校運営協議会を拡大し、27中学校区に設置 ・京都市立義務教育学校条例を制定し、要件を満たす小学校6校・中学校6校を平成30年度から義務教育学校（6校）へ移行 ・第12回小中一貫教育全国サミットin京都の開催 ・小中一貫教育を分かりやすく紹介したリーフレットを保護者へ配布		学校指導課
	5	県費負担教職員給与費移管の下での効果的な人員配置、適正な教職員評価による教員の資質・指導力向上	・移管された権限を活用・工夫した効果的な人員配置 ・ミドルリーダー層の拡大・養成に向けた研修実施 ・OJT活性化、自宅等から研修映像を視聴できる「おうちポータル」等のコンテンツ充実 ・英語教育や道徳教育等の喫緊の教育課題に関する研修の充実 ・育児休業中教員の円滑な職場復帰に向けた支援の充実 ・給与に反映する教職員評価「査定評価」制度の円滑な実施と教職員の意欲喚起	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	・「京都市教員等の資質の向上に関する指標」の策定 ・「ミドルリーダー」層の拡大と養成に向けた研修等の実施と「京・教育研究・研修マイスター」の活動充実 ・京都市の「IT実習ガイドライン（改訂版）」の作成とガイドラインを活用した研修等の実施 ・自宅等から研修映像を視聴できる「おうちポータル」等のコンテンツ充実（おうちポータルのコンテンツ数28年度106本、29年度164本） ・英語教育や道徳教育等の喫緊の教育課題に関する研修の充実 ・育児休業中教員の円滑な職場復帰に向けた支援の充実 ・給与に反映する教職員評価「査定評価」の実施		教職員人事課 総合教育センター
創造的で個性豊かな子どもの育成	6	文化庁の全面的移転決定を契機とした京都ならではのグローバルコミュニケーション力育成と文化芸術活動の推進	・中・高等学校全校での茶道体験など小・中・高等学校全校での伝統文化体験活動の実施 ・小学校全校での小学校英語の早期化・教科化等を見据えた取組の推進 ・外部検定試験（英語検定等）の活用による中学・高校生への英語力向上の取組 ・海外研修・留学への支援や日ヶ丘高校「英語村」を活用した小中学校や地域との連携の促進 ・京都商工会議所や事業者との連携を図り、市内在住、在学中高生の京都・観光文化検定の受験を促進 ・博物館施設等での体験の充実や平安京創生館の授業等での活用推進 ・吹奏楽部への外部講師派遣の充実	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	・全小・中・高等学校で茶道体験等の伝統文化体験活動を実施 ・京都市英語教育研究推進拠点校を2校（小14、中5、高1）指定し、新学習指導要領を見据えた「京都ならではの英語教育」の実践研究を実施。また、小学校全校で3、4年生における外国語活動を実施 ・日ヶ丘高校「英語村」において、小学3年生（57名参加）が夏休期間を活用し、ALTや高校生徒とともに英語体験活動を行う「Hello English」事業を実施 ・中学生約4,500名、高校生約500名が補助事業を活用して英検を受験。また、高等学校において海外研修・留学への支援を実施 ・京都・観光文化検定を、市内在住、在学中高生700名が受験 ・「平安京創生館」のこども用タブレット（活用リーフレット）の改訂版の作成、全市小学校及び総合支援学校への配布		学校指導課 生涯学習部 総合教育センター
	7	環境教育・理科教育の推進と企業・大学等と連携した青少年科学センターの取組の充実	・KES学校版「環境にやさしい学校」小・中・総合支援学校（小・中・学部）全校認定 ・学校・家庭・地域が一体となった取組を積極的に推進するための全校・園独自の「新・環境宣言」策定 ・こどもエコライブチャレンジ推進事業の小学校全校での実施 ・青少年科学センターの年間入場者数の増加（年間127人） ・青少年科学センターにおいて企業等の協力による企画展示の実施 ・京都鑑定書採集20周年や「京都市環境教育・学習基本指針」に基づいた取組の推進 ・青少年科学センターにおける科学地球儀設置に向けた調査研究	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	・KES学校版「環境にやさしい学校」小・中・総合支援学校（小・中・学部）全校認定 ・こどもエコライブチャレンジ推進事業の小学校全校での実施 ・環境教育スタグードの改訂 ・青少年科学センターの年間入場者数の増加（平成28年度116,337人、平成29年度119,247人） ・青少年科学センター展示スペースのリニューアルによる新展示品「実物元素周期表」及び「いきもの研究室」の公開 ・青少年科学センターにおいて、株式会社堀場製作所の協力による特別展「はかるとわかる 分析の科学」の開催 ・青少年科学センターにおいて、科学地球儀設置に向け、試作品によるデモ投影及びワークショップを実施		学校指導課 青少年科学センター
	8	子どもの読書活動の推進に向けた「第3次京都市子ども読書活動推進計画」の実施と学校司書の配置拡大等、学校図書館の活用促進	・学校司書の配置日数の拡大 ・京都市図書館所蔵図書が学校への年間団体貸出冊数40,000冊以上 ・京都市図書館による学校への出前事業や、タブレット端末型PCの活用など学校図書館の機能充実に向けた取組の実施	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	・学校司書を全小・中・総合支援学校へ配置及び配置日数（週2日配置校数を70校増）を拡大 ・京都市図書館所蔵図書の学校への団体貸出（30,049冊）やブックトーク、読み聞かせ等の実施、京都市図書館司書による学校司書を対象とした研修の実施 ・「読書ノート」や「学校図書館活用ノート」の配布 ・タブレット端末型PCを活用した調べ学習等の実施		学校指導課 生涯学習部 各図書館
社会的・職業的自立に向けた生き方探究教育の充実。学校での学びを地域・社会の課題解決につなげ社会参画の力や政治的教養を育む教育の推進	9	・生き方探究教育に係る各種体験学習の小中学校全校実施に向けた実施校の拡大 ・「政治的教養を育む教育にかかる学習指導案集」や園の副読本を活用した発達段階に応じた体系的・計画的な授業等の実施 ・地域社会での取組活動やボランティア活動の実施 ・学校の議場見学や「京都市会親子ふれあい議場見学会（市会事務局が実施）」等、市会事務局との連携による市会を身近に感じる取組の充実	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	・スチューデントシティ学習（163校10,328名（該当学年不在の1校を除く））、ファイナンスパーク学習（72校6,545名（総合支援学校5校含む））、京都モノづくりの殿堂・工芸学習（163校10,075名（総合支援学校4校含む））生き方探究・チャレンジ体験推進事業（77校9,529名（隔年実施の1校を除き、総合支援学校5校含む）） ・「政治的教養を育む教育にかかる学習指導案集」を活用した授業や、選挙管理委員会や社会保険労務士会等と連携した出前授業を実施 ・小学校16校（約500人）において市会議場見学を実施		学校指導課、京都市まひの街生き方探究館	
	10	多文化が息づくまちづくりに向けた国際理解教育と、外国人児童生徒等への日本語指導体制等の充実	・帰国・外国人児童生徒等の受入体制の充実と個々の状況に応じた日本語指導の拡充 ・日本語指導担当教員等の指導力向上を図る研修会の充実	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	・日本語指導ツールサポートシステムの運用を進め、帰国・外国人児童生徒等に対する迅速かつ的確な受入体制の構築及びきめ細かな日本語指導の推進 ・日本語指導担当教員等に対して、「日本語指導担当教員指導力向上セミナー」を年間7回、夏休期間中の「多文化共生社会実現に向けた研修会」実施など、指導力向上に係る取組を実施		学校指導課

基本方針・重点方針		平成29年度重点取組						
		取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等	
心身ともに健全でたくましい子どもの育成/いのちを守り切る取組の推進	11	道徳の教科化に向けた道徳教育の充実や体験活動の推進等、子どもの規範意識を育む取組の推進	・6月・10月の「道徳教育推進月間」における全小・中学校全学級での公開授業（保護者参観型） ・道徳教育推進リーダー教師を中心とした各行政区での取組の展開等、全市をあげた研究・実践の推進 ・パンフレット「考え、議論する道徳を目指して」を活用した、授業改善の促進 ・中学校の生徒会活動、小学校児童会活動の活性化 ・長期泊泊・自然体験推進事業の小中学校の実施 ・非行防止教室の全小・中・高等学校での実施	（はばたけ未来へ！京プラン実施計画）	・6月・10月の「道徳教育推進月間」における全小・中学校全学級での公開授業（保護者参観型）の実施 ・全63校の研究指定校を中心とした教科化に向けた実践研究の実施や「道徳教育推進リーダー教師」による各行政区での本指導の展開等、全市をあげた研究・実践の推進 ・各学校「特別の教科 道徳」教科書採択と指導計画の配布 ・パンフレット「考え、議論する道徳を目指して」を活用した、授業改善の促進。また、評価の事例をまとめた道徳科の評価に関する手引書の作成 ・46小・中学校、全小中学校の代表が参観、京都市子ども未来会議を開催（8月22日）。小学生の交流状況をリーフレットで各校へ発信 ・3泊4日以上での宿泊体験事業として、長期泊泊・自然体験推進事業を全小学校156校で実施 ・非行防止教室の全小・中・高等学校での実施		学校指導課 生徒指導課 花背山の家	
	12	いじめ・不登校の未然防止と早期発見・解決に向けた取組の充実	・いじめ防止条例等に基づく「京都市子どもの豊かな心と規範意識を育む関係者会議」の開催等、市民ぐるみの取組の充実 ・国の方針の見直しや登校支援ハンドブックを踏まえた取組の推進 ・全校配置のスクールカウンセラーの週1日8時間以上配置校を拡充 ・スクールソーシャルワーカーの配置校拡大(40校)による体制の充実 ・教員が学級実態をより適切に把握するためのクラスマネジメントシートの活用 ・「ふれあいの社」や洛風・洛友中学校等、不登校を経験した子どもの学びと育ちを支える活動の展開	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・「京都市いじめの防止等取組指針」の改定 ・「京都市子どもの豊かな心と規範意識を育む関係者会議」を年2回（29年6月、30年2月）実施 ・国の新たな動向も踏まえ、一人一人の不登校児童生徒に応じた適切な支援のために作成された登校支援ハンドブックを平成29年4月～5月全小中学校職員に配布し、校内研修や不登校の未然防止等、各校における登校支援の充実に向けた活用を行った ・スクールカウンセラーの週1日8時間以上配置校を計104校（28年度は78校）に拡充 ・スクールソーシャルワーカーの配置校を40校（28年度は29校）に拡大 ・小中学校各校でクラスマネジメントシートを実施 ・洛友中学校の夜間部で、不登校等の事情で実質的に義務教育を十分に受けることのできないまま中学校を卒業した事（形式卒業者）を導入し、「ふれあいの社」、洛風・洛友中学校における教育活動の実施		生徒指導課 教育相談総合センター	
	13	学校・地域・保護者・関係機関等との連携による薬物乱用防止教育の徹底や、ケータイ・スマートフォン携帯ゲーム機等、携帯情報通信機器の不適切利用防止対策の推進	・小・中・高等学校全校における薬物乱用防止教室、薬物乱用防止にかかる教職員研修の実施 ・青少年健全育成団体と学校・地域、家庭が連携した薬物乱用防止のための研修会や啓発活動の実施 ・児童向けスマホ学習「みんなで考えよう！スマートフォン・ゲーム機とのつきあひ方」の充実 ・携帯情報事業者との連携による「ケータイ教室」の実施 ・京都市情報モラル携帯電話市民インストラクターによる保護者向け啓発講座の実施 ・「学校非公式サイト等のネット監視システム」の実施	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・小・中・高等学校全校における薬物乱用防止教室の実施及び薬物乱用防止に係る教職員研修の実施 ・小学生保護者啓発読本「薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」」子供たちを薬物乱用から守るために」配付（平成29年2月） ・高校卒業予定者のみならず薬物について誤解をしておませんか？の配布（12月） ・「高校生自ら考える薬物乱用防止シンポジウム京都市」を開催（11月） ・「みんなで考えよう！スマートフォン・ゲーム機とのつきあひ方（携帯情報通信機器に関する学習・啓発プログラム）」の実施（96校・1,076人） ・携帯情報事業者との連携による「ケータイ教室」を実施（115校） ・情報モラル市民インストラクターによる保護者向けの啓発講座の実施（56回・2,284人） ・「学校非公式サイト等のネット監視システム」を実施		生徒指導課 体育健康教育部 生涯学習部	
	14	「健康長寿のまち・京都」の実現に向けた食育・健康教育、体力向上の取組、運動部活動の充実、安全・防災教育の推進	・栄養教諭の全校配置と食に関する指導の充実 ・「京都市立小中学校における食物アレルギー対応の手引」に基づく食物アレルギー対策の推進 ・「京都市通学路交通安全プログラム」に基づく関係機関が連携した通学路の安全確保の取組 ・水泳指導をはじめ教育活動における安全対策の徹底 ・「ジャンプアッププロジェクト」をはじめ子どもの体力向上を目指した取組の実施 ・中・高等学校の運動部活動における外部コーチ派遣事業の積極的な活用	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・7名の栄養教諭を本市独自予算で任用し、全小学校への配置を完了（兼務を含む） ・「京都市学校生活管理指導員（食物アレルギー用）」による食物アレルギーの確認や除去食の提供実施 ・和食取組の一部の充実と強化を図るため、「焼き物」を調理できるスチームコンベクションオーブンを平成29年から6年制から5年制へ導入（平成29年度計校31校） ・「京都市通学路交通安全プログラム」に基づく関係機関が連携した通学路の安全確保の取組充実 ・水泳指導をはじめ教育活動における安全対策の徹底 ・ジャンプアッププロジェクトをはじめ子どもの体力向上を目指した取組の実施 ・中・高等学校の運動部活動における外部コーチ派遣事業の積極的な活用 ・中・高等学校の部活動指導員任用にあたっての制度の整備 ・京都市立中学校運動部活動ガイドラインの改訂		体育健康教育部	
	15	障害のある子どもへの教育の推進	就学前からの切れ目のない支援や総合支援学校における職業教育の充実、発達障害のある子どもへの学習支援の充実等、障害者差別解消法施行を踏まえた施策の推進	・きめ細かな就学相談の実施 ・全学期間実施での「就学支援シート」事業の推進 ・地域・企業等との連携による新たな職業教育の推進 ・総合支援学校生徒の実習先企業の拡大 ・LD等通級指導教室で指導を受けている児童生徒数の拡大 ・手話に関する理解促進 ・高等学校におけるLD等支援の必要な生徒への指導・支援の充実	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・京都市就学支援委員会審議案件数（28年度：2,055件、29年度：2,191件） ・就学支援シート提出数（28年度：999枚、29年度：1,131枚） ・東山総合支援学校を中心とした、地域・企業等との連携による新たな職業教育の推進 ・総合支援学校生徒の実習先企業数（28年度：300社、29年度：311社） ・LD等通級指導教室で指導を受けている児童生徒数（対象28年度：781名、29年度：923名） ・手話教師の専任や、身代り便器等を媒介した通級生指導のリーフレットを作成 ・手話学習の拠点となる「モデル授業」等のビデオ教材を作成し、学校における取組を促進。 ・平成30年度から高等学校における通級指導を実施するため、伏見工業高校定時制において、国の委託事業を受託し、LD等の支援の必要な生徒への指導・支援の在り方について研究を推進。また、プロジェクトチームを新たに立ち上げ、生徒の実態に応じた支援策や制度化について検討		総合育成支援課
	16	魅力あふれる市立高校づくり	進路希望の実現を目指す特色ある高校づくり、「新しい定時制単独高校」や「新しい普通科系高校」の創設に向けた取組、銅駝美術工芸高校の移転整備など市立高校改革の推進	・各市立高校における魅力あふれる教育の推進 ・「新しい定時制単独高校」創設に向けた基本設計・実施設計の着手 ・「新しい普通科系高校」創設に向けた基本計画の策定 ・銅駝美術工芸高校の移転整備に向けた基本設計の着手	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・普通科系5校：4年制大専現役進学率63.3%、工業高校2校（全日制）：学校輪旋就職内定率100% ・「新しい定時制単独高校」の創設に向けた取組の推進（基本設計・実施設計の実施、土壌調査、「『新定時制単独高校の創設に係るワーキンググループ』まとめ」の策定、「新定時制単独高校創設に係る開校準備チーム」の設置及び「まとめ」の具体化に向けた検討） ・「新しい普通科系高校」創設に向けた取組の推進（基本計画の策定、土壌調査、「まとめ」の具体化に向けた検討） ・銅駝美術工芸高校の移転整備に向けた取組の推進（基本設計の着手）		学校指導課
	17	子育て支援の充実	子育て環境の一層の充実に向けた市立幼稚園での預かり保育の充実や、子ども若者はぐくみ局との連携	・市立幼稚園全園で、原則として長期休業期間中を含む平日18時までの預かり保育の充実 ・先進的な教育研究実践成果を私立幼稚園を含めた全市への発信など、はぐくみ局との連携による幼児教育・保育の質の向上、量の拡大	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・市立幼稚園全園で、原則として長期休業期間中を含む平日18時までの預かり保育の充実（延人数約57,691人） ・公開保育や研究発表により、各市立幼稚園での教育研究実践成果を私立幼稚園を含めた全市へ発信		学校指導課 生涯学習部
	18	子どもたちがいきいきと学べる安心安全で特色ある教育環境整備	環境と防災に配慮した学校施設整備事業の計画的な推進	・体育館リニューアル事業、工事着手（4校）、設計の実施（4校） ・体育館改築事業、設計の実施（1校） ・プールリニューアル事業、工事着手（3校）、設計の実施（3校） ・校長長寿化事業；工事着手（3校）、設計の実施（3校） ・「学校施設マネジメント計画 行動計画」の策定	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・体育館リニューアル事業、工事着手（4校）、設計の実施（3校） ・体育館改築事業、設計の実施（1校） ・プールリニューアル事業、工事着手（3校）、設計の実施（3校） ・校長長寿化事業；工事着手（3校）、設計の実施（3校） ・「学校施設マネジメント計画 行動計画」の策定		教育環境整備室
	19	学校図書館のリニューアル、学校トイレの洋式化等、学校施設の整備推進	学校図書館のリニューアル、学校トイレの洋式化等、学校施設の整備推進	・市内産木材を活用した学校図書館の環境整備（44校） ・快適トイレの整備（15校） ・洋式トイレの整備（13校） ・快適トイレ及び洋式トイレの整備（4校）	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・市内産木材を活用した学校図書館の環境整備（83校） ・快適トイレの整備（15校） ・洋式トイレの整備（13校） ・快適トイレ及び洋式トイレの整備（4校）		教育環境整備室 学校指導課
	20	市民だれもが参加できる「学びのネットワーク」の構築と市立図書館の更なる利便性の向上	市民だれもが参加できる「学びのネットワーク」の構築と市立図書館の更なる利便性の向上	・生涯学習ポータルサイトのコンテンツの充実 ・博物館や大学等との連携による多彩な学習機会の提供、充実 ・貸出冊数・利用者数の増 ・図書館環境の整備 ・録音図書データの提供など視覚に障害のある方々の更なる利便性の向上	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・生涯学習ポータルサイトのコンテンツの充実（施設・団体情報アップデート、Twitter開設等） ・博物館や大学等との連携による多彩な学習機会（講座・展示・イベント）を実施 ・京都市図書館における貸出冊数74.1万冊、利用者数41.2万人 ・京都市立芸術大学附属図書館との図書資料の相互貸借の開始（H29.4～）、京都市立図書館等との相互貸借の適応化（H29.4～） ・取巻局取組への取組ポストの設置、運用開始（H29.11～） ・サビエ（視覚障害者情報総合ネットワーク）のサービス提供の継続		生涯学習部 生涯学習部 総合センター 各図書館
21	生業学習の推進	日本初開催となる「国際博物館会議（ICOM）京都大会2019」の成功に向けた取組	・市民が博物館や美術館に親しむための魅力あるイベントの企画や関係団体との連携等、大会成功に向けた取組の推進	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・庁内連絡会議の強化 ・ICOM京都大会2019京博推進委員会の運営 ・ICOM京都新館開館セレモニーの実施 ・ICOM京都大会開催イベント「ザ・ハーバード・クロコティロス」公演の実施 ・ICOM京都大会開催イベント「博物館講座」の実施 ・ICOM京都大会推進月間イベントの実施 ・京博連加盟館の学芸員等による「ミュージアム・京・ミーティング」実施		生涯学習部	
22	文化庁の全面的移転決定と2年後の番組小学校150周年を契機とした京都の教育の歴史と文化力、地域力の一層の発信	文化庁の全面的移転決定と2年後の番組小学校150周年を契機とした京都の教育の歴史と文化力、地域力の一層の発信	・学校歴史博物館開館20周年(H30)・番組小学校創設150周年(H31)の節目に向けたイベント・情報発信の充実・強化 ・学校歴史博物館開館以来の企画展展成「20年の影り」の発行 ・多言語（英・韓・中）パンフレット作成と多言語音声案内システムの常設展導入着手	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・学校歴史博物館開館20周年(H30)・番組小学校創設150周年(H31)の節目に向けたイベント「京一」 ・学校歴史博物館開館以来の企画展展成「20年の影り」を発行 ・多言語（英・韓・中）パンフレット作成と多言語音声案内システムの常設展導入に着手		学校歴史博物館	